



おにぎり通信

2023年2月18日(土曜) 四ツ谷おにぎり仲間

こんにちは！私たちは毎週土曜日に、四ツ谷、銀座、日比谷、秋葉原、日本橋、東京駅周辺で生活されている方々を訪問しているボランティアグループです。

つれづれなるままに…で始まる「徒然草」の第60段は「芋喰和尚」の逸話です。芋が大好きで手にした大金はすべて芋代に変えた、という豪放磊落な僧侶の話ですが、それに憧れ、画号を「芋銭」とした日本画家がいました。「自分の絵が芋を買うぐらいの銭になれば」と、農業の傍ら思うままに筆を走らせ、「河童の芋銭」と称されるほどに、様々な「河童図」を残しました。農民や自然を愛し、貧しい者に心を寄せ、時には社会を厳しく風刺した挿画なども描きました。俳人としての活躍をしながらも、生涯のほとんどを牛久沼の畔で暮らした「小川芋銭」は、慶応4年の今日、生まれました。

日付	19日 (日)	20日 (月)	21日 (火)	22日 (水)	23日 (木)	24日 (金)	25日 (土)	26日 (日)
東京都 千代田区	曇一時雨 19/10 30%	晴 13/8 20%	晴 7/2 20%	晴時々曇 8/0 30%	曇 12/3 40%	曇 12/4 40%	曇時々雨 12/6 80%	晴 13/6 20%

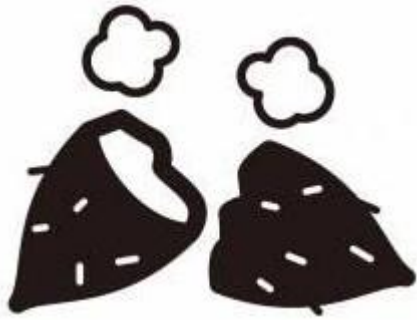
福祉行動を希望の方は、

おにぎりを配る時に、お声がけください。

病院や生活相談等で、福祉事務所に行くことを希望される方は、おにぎりをお渡しに伺った際に声がけ下さい。毎週土曜日の訪問活動の時に声がけ頂いた場合、翌週以降に福祉事務所まで同行します。

中央区福祉事務所・中央区築地1-1-1 中央区役所4階

千代田区福祉事務所・千代田区九段南1-2-1 千代田区役所3階



* 冬の風物詩「ほっかほっかのお芋だよ〜」
コロナ禍の影響もあってか、移動販売車の甲
高い汽笛の音や、独特な節回しの唄は聞こえ
なくなりましたが、なんと今は、第四次の
「焼き芋ブーム」だそうです。

* 歴史を紐解くと、焼き芋には、時代ごとに人気が高まる時期がありました。江戸時代の後半、「九里（栗）よりうまい十三里」と呼ばれた現在の埼玉県川越市（江戸から13里）の芋が人気を博し、明治時代の後期になると、甘みの強い品種の発見や「つぼ焼き」の普及によって二度目のブームが訪れます。その後、戦後の高度成長期になると「石焼き芋」の大流行が巻き起こり、リヤカーや軽トラを改造した「やきいも屋」が、彼方此方に出没するようになりました。少ない元手で一攫千金が臨めるとあって、転職し開業する勝負師も多かったようです。新聞紙に包まれた「お芋」の芳ばしい香りと温もりが、なんとも言えない「幸福感」を運んでくれるようで、大勢の人々が引き寄せられたのかもしれませんが。

* そして現在、コンビニやスーパーの店先で販売されている「焼き芋」が大人気です。使われる芋の種類も多様化し、甘みや食感に変化が加わったことで、幅広い層が購入するようになりました。専門店も続々と誕生し、美味しさを求めて遠くから足を運ぶ食通や、並んでまでも味わいたいという美食家が列を成しています。

* いつの世も「芋代のために働く御仁」が後を絶たず、現代版の「芋喰和尚」によってブームは再燃されるのです。



よつや なかま ちよだくこうじまち せい きょうかい
四ツ谷おにぎり仲間 千代田区麴町6-5-1 聖イグナチオ教会
れんらくさき れんらくかのうじかん まいしゅうどうようびごごじ
連絡先 080-7967-8672（連絡可能時間 毎週土曜日午後3時～6時）

* おにぎりを包むラップや読み終わった通信は、放置せずゴミ箱へ
ひとりいっこ ひ め あが くだ
* おにぎりは、お1人1個で、その日のうちに召し上り下さい